

第三回大学技術職員組織研究会（米子会議）プログラム

令和元年9月27日（金曜日）

13:00-13:05 開会のあいさつ（鳥取大 技術部長・河田）

進行：鳥取大・三谷

13:05-13:25 「技術組織の評価について」（名工大・玉岡）

13:25-13:40 「全学組織化による教育研究の強化・推進」（熊本大・上村、須恵）

13:40-13:55 「岩手大学技術系職員の評価について」（岩手大学・中條、星）

13:55-14:10 「ナノテクノロジープラットフォームの職能付与の取り組みと現状」（NIMS・井上）

14:10-14:25 「鳥取大学からの提案」（鳥取大・甲斐）

14:25-15:00 <ディスカッション> 「技術職員の評価とキャリアパス」

15:00-15:15 休憩

進行：鳥取大・丹松

15:15-15:25 「大学連携研究設備ネットワーク事業について」（分子研・大原）

15:25-15:40 「九州工業大学の機器共用について」（九工大・井本）

15:40-15:50 「大学連携研究設備ネットワークと有志の会について」（名工大・玉岡）

15:50-16:00 「事前アンケート報告」（分子研・大原）

16:00-16:20 「研究基盤研究会（仮称）へのご招待」（東工大 教授・江端）

16:20-16:50 <ディスカッション> 「大学連携研究設備ネットワーク有志の会との連携を考える」

16:50-17:00 その他報告など

17:00-17:05 閉会のあいさつ（大学技術組織研究会顧問・勇木）

最大延長 18:00

17:10- 施設見学会（進行が遅れた場合は中止）

研究・イノベーション学会 ホット 이슈ー 「研究基盤改革の最先端」開催（2019.10.26-27@GRIPS）



2) ホット 이슈ー

ホット 이슈ーとして、今次大会は特に次の7つのテーマに焦点を絞ります。毎年継続して実施している研究報告・事例報告などは恒常 이슈ーとし、ホット 이슈ーでは、以下のテーマについて、産官学それぞれの立場からの研究発表を期待いたします。

講演18件，ホット 이슈ーで最多！

H) 研究基盤改革の最先端

—研究力を向上させるハード（施設・設備）とソフト（人財・システム）—

産学官が有する研究施設・設備・機器・技術は、あらゆる科学技術イノベーション活動を支える重要なインフラである。文部科学省が発表した研究力向上改革2019の柱の一つとして、研究室単位を超えた研究環境の向上により研究効率を最大化することが掲げられている。この課題は、総合科学技術イノベーション会議でも取り上げられ、第6期科学技術基本計画策定に向けた 이슈ーとして注目されている。本ホット 이슈ーでは、研究基盤の改革、特に、施設・設備の利活用を促進して研究力を向上させるための方策や、それに対応する人的リソースの整備・育成等に関して、現場での課題、トライアル・実践の事例、トップダウンあるいはボトムアップ的に課題を解決してきた戦略、等についての議論を行う。